



H I S T O R Y " 5 2 - H E R T Z "

5 2 ヘルツの旋律



R 1 8



凧月!



まろくん



まろくん
優しいねえ

そう思うなら
これ以上
心配させるようなこと
しないでくれよ...



どうしたの?

探して
くれたんだ?

.....そうだよ

生徒会で
残ってたんだよ

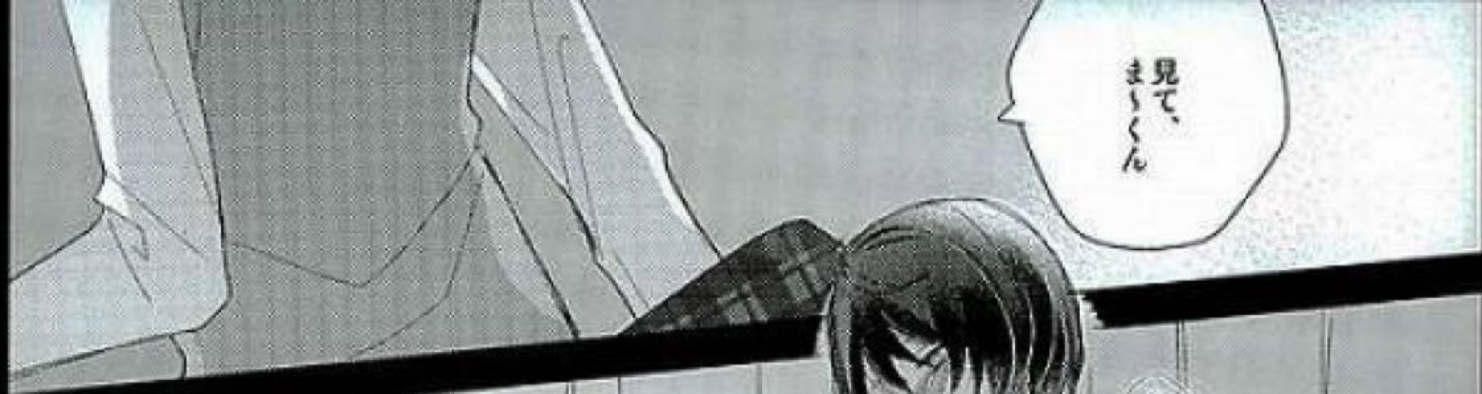
帰ろうとしたら
お前、また学校に
いるみたい
だったから











見て、
まうくん



まうくんの

全部
入ったよ……



すごい
格好だな……

助かす
のかしく
お前の
かしく

ふふ

平気だ



……見えて

だって
まうくんたらん

まうくん
なら

何だって
出来るし

何されても
平気だよ

まうくん
だけが、

俺の
家族だから……

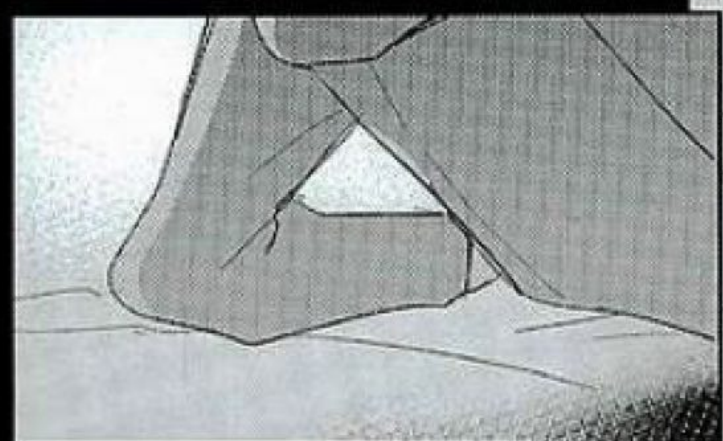
……家族は
こういうこと
しないだろ

ふふ、
そうかい

家族、という言葉を口にするとき

凧月は泣きそうな顔をする







……大丈夫だから



ね、だから

出っ

俺んなか、



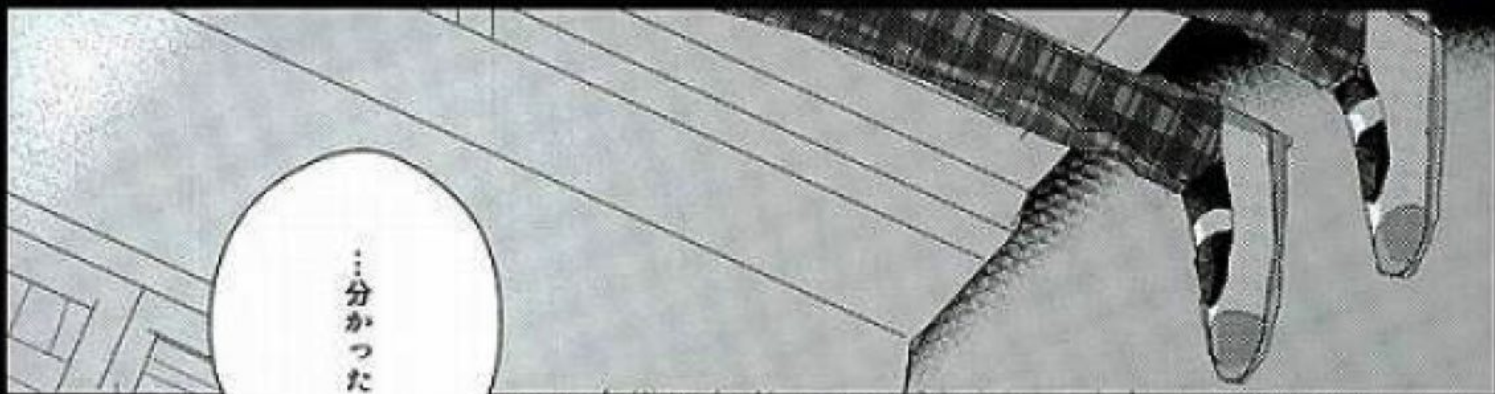
まろくん
ごめんね

お前
荷物教室だよな？

用事
思い出しちゃった


取って
くるから
ちよつと待

ごめん
まろくん







昔 何かで読んだ鯨の話



衣更くん、
ひとりで
帰っておったぞ



あんたが
俺に
それを言うの



おぬしはもう少し
衣更くんを
信用しても
いいんじゃないか
のう



…知ってるよ

まくくんが
誰より優しいの
なんて

あんたに
おいていかれて
俺の

そばに
いてくれたの
まくくんだけ



すまないのう、
凧月

その距離の
とり方も

諦め方も

……もう
放っておいてよ

ひとりに
なりたいの



おぬしを
そうさせて
しまったのは
我輩なのじゃろう

だから
我輩のことなら
いくくら
恨んでくれても
構わない

けれど
自分を譲るには
しないでおくれ

ひとり
がいい
だなんて
言わない
でくれ

俺が助けてと
言ったら

まうくんは
そうして
くれるだろう

でもそれは
きつと大きな
負担になる

昼の世界に
なじもうとした俺が
死にかけてみたいに

……そうだと
しても
優しいまうくんは

全力で
俺を助けて
くれるんだろう

自分のことなんか
後回しにして

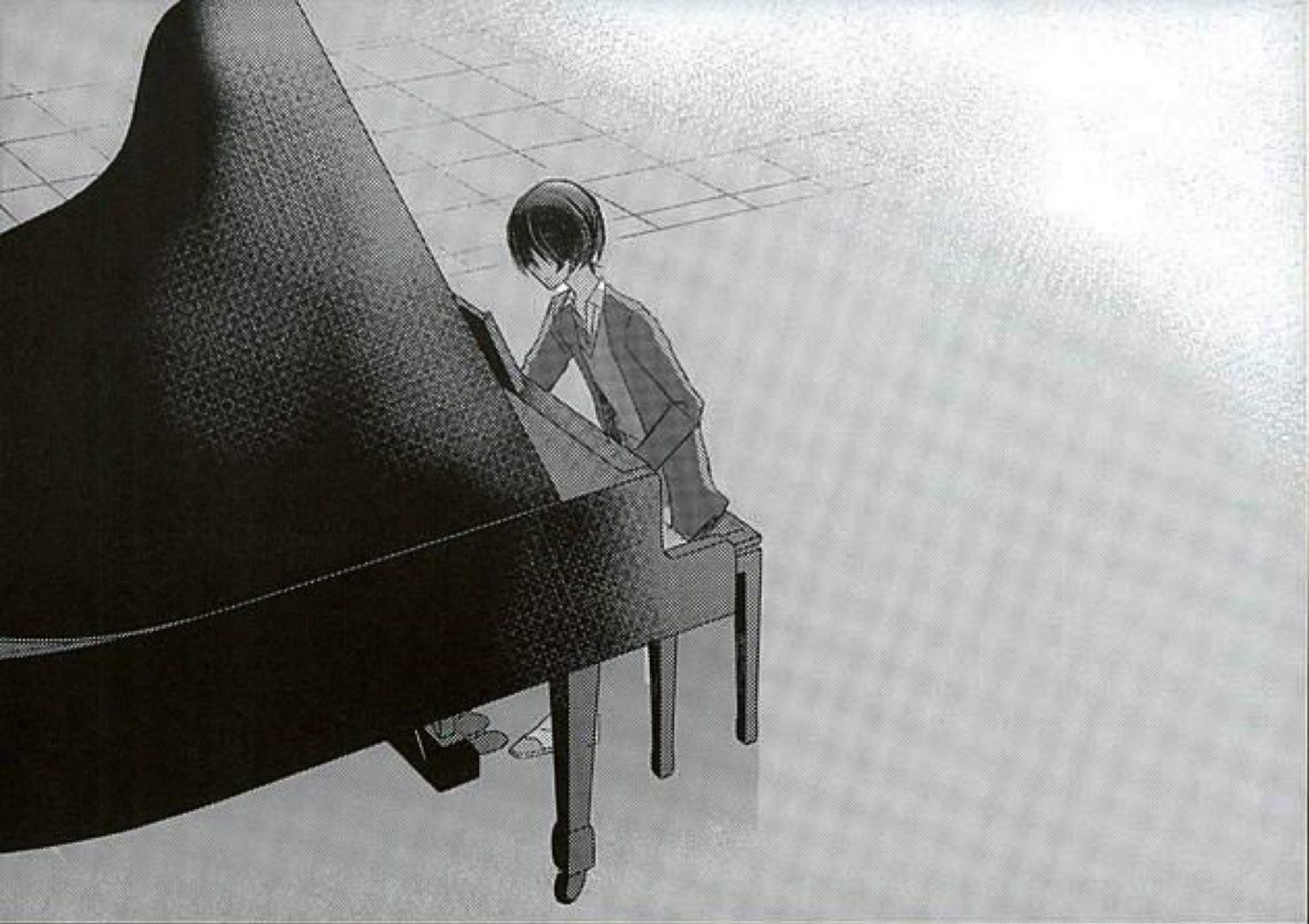
しょうがない
奴だなんて

いつもみたいに
笑いながら

それは、

嫌だな……





短い間だったけど
昼の世界に生きて分かった

光と闇はちがうもので

夜の周波数は

昼の世界とは交われない

だから

俺の音は 屈かない

皆と同じになれない俺は きつと すつと この間の中で

でも、

まっく

ひとは
いやだよ



涼月の様子
おかしかった
よな



……気のせいかな



勝手なんだよ、
あいつ

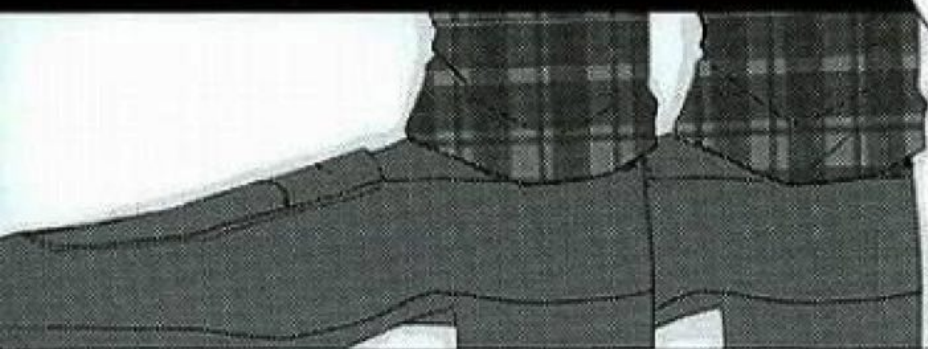
いつもは
これでもかかってくらい
甘えてくるくせに

肝心なところは
はぐらかす



頼り
ないのかな
俺

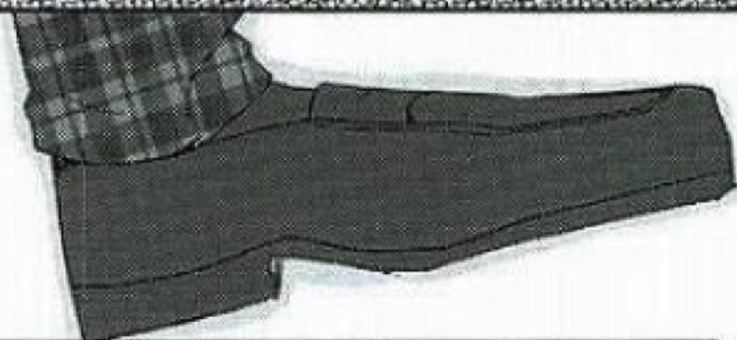
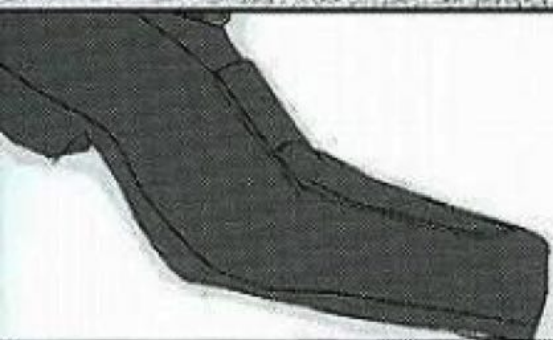
……年下だし




それでも



……





それでも
放っておけるわけ
ないだろ！

だって、ここまで
一緒だったんだ

あゝほら
泣くなよ

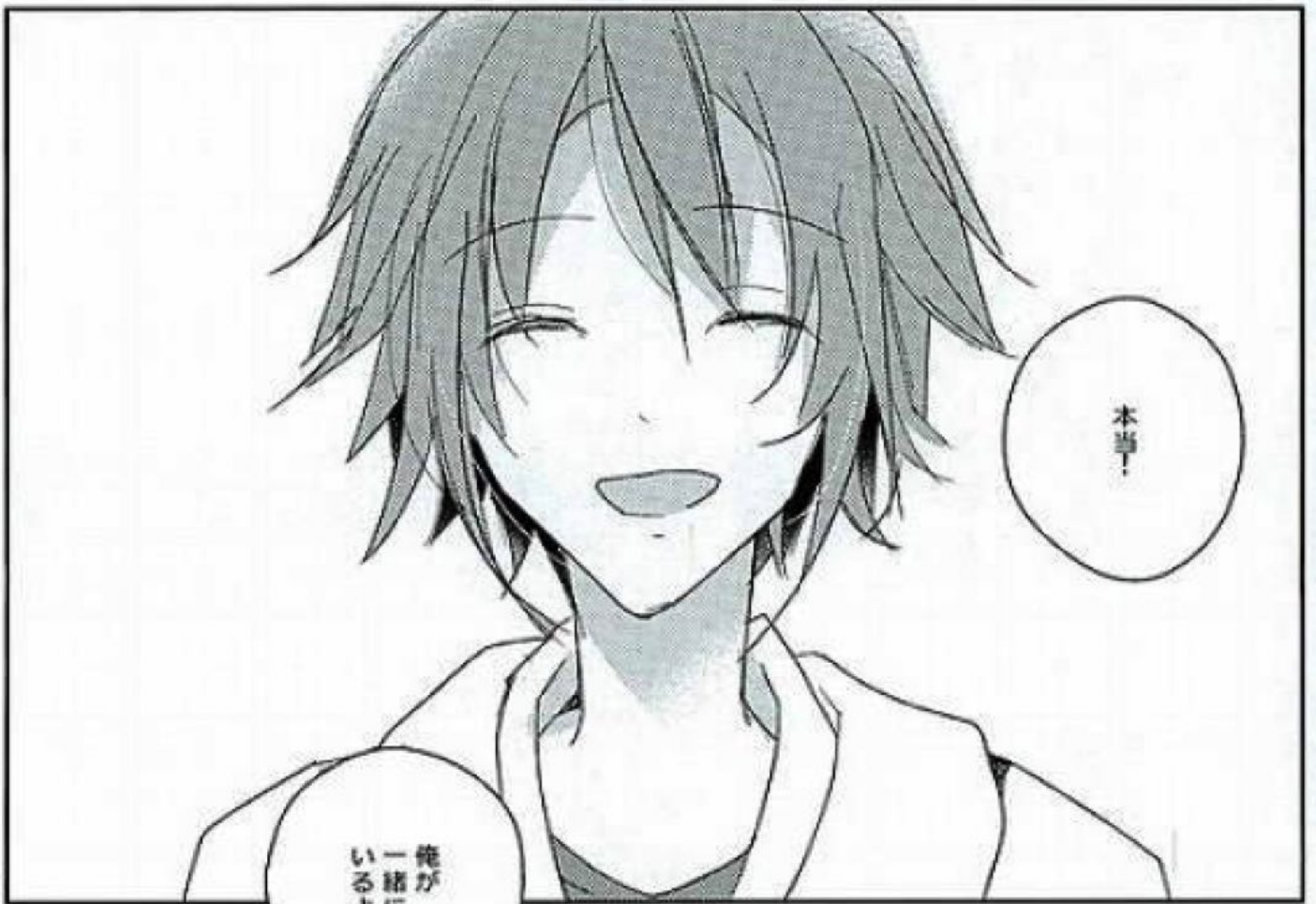
りっちゃん
は泣き虫
だなく？

泣いて
ない……

元気
出せて

代わり
に俺が
いるからさ

……本当？



本当！

一緒に
俺が
いるよ

これから
ずっと

お前がもう
さみしくないように

H I S T O R Y " 5 2 - H E R T Z "

5 2 ヘルツの旋律



ENSEMBLE☆STARS UNOFFICIAL FANBOOK

MAO*KITSU/2017.12/07 TO

